

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	KIDS GOGOS			
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 20日		～	令和7年 2月 4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数)	13名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 20日		～	令和7年 2月 4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 2月 4日	令和7年 2月 4日	～	令和7年 2月 21日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	2	(回答数)	2
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 25日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境や体制面で、事業の目的が明確に説明できていることなど。	・ 保育所等訪問支援における目的を説明したうえで、保育所での児童の様子や環境面など、保育所と調整が可能な点を切り分けるなど、保護者と話し合いながらサービスを進める工夫をしている。	・ 関連する保育所との、より連携を図るため、保育所にとっての有益性を向上させていく必要がある。
2	適切な支援の提供において、保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援を実施できていること。	・ 訪問先の保育所と、事業所との環境の違いや、担任の先生方が支援可能な範囲などを共有し、現実的に提供できる支援方法などを話し合う機会を設けている。	・ 現在の取り組みを継続し、可能ならば、事業所へ来所いただくことなどを提案し、より訪問先との連携を図っていきたい。
3	保護者への対応として、こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されていることや、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応できていること。	・ 保護者と話し合う機会を設け、保育所での出来事や、現在の児童の様子などを共有できるようにしている。 ・ 相談などがあれば、保育所と連携し、可能な限り早めの対応を心がけている。	・ 緊急性を評価する仕組みなどを保育所と共有し、緊急性が高い事案などは、早期に訪問できるような仕組みづくりを進めていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境・体制整備における保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定しているが、保護者が臨む頻度で支援出来ていないこと。	・ 訪問先の保育所とのスケジュール調整が難しい。 ・ 高頻度での訪問が現実的に難しいことが多い。 ・ 保育所の集団という環境下では、他の児童へ影響を与えることが避けられないため、訪問先の意向も受け入れる必要があること。	・ 訪問先で集団に影響を与えない形での支援方法を模索する。
2	保護者への説明等で、家族等も参加できる研修会や情報提供の機会を提供できていないこと。	・ 時間割制でのサービス提供形態のため、保護者会や交流会の開催日について、日時の設定が難しいことが課題。	・ 保護者同士が交流できる機会を新たに設けるため、利用時間の調整や、日時の設定などの取組が必要。
3	ホームページやSNS等での情報発信ができていない。	・ 自己評価の開示情報や、台風や雪などによる事業所の休業情報以外で、ホームページが活用できていない。 ・ SNSなど安全な運用について、知識が不十分であることが課題。	・ 事業所の日常や児童、保護者にとって有益な情報も発信できるように改善していく必要がある。 ・ インターネットを介した安全な情報提供を理解し、運用する知識や技術の構築が必要。